

小学校 中 学年< 3 - (3) >

学 年	3年	時 間	理科「風やゴムのはたらき」(啓林館) 「風やゴムで動かそう」(東京書籍)	時 期	7月(啓林館) 11月(東京書籍)	時 数	まとめ5分
目 標	生活科などでの体験をもとに、風(やゴム)の力について、力の強さと物の動き方との関係に興味をもち、実験を通して、風の強さ(やゴムの引き方)をかえたときの物の動く様子を比較し、風(やゴム)の物を動かす働きについての考えをもち、強風時に自分の身を守ることができるようにする。						
資料・準備	風車(風力発電)・台風や竜巻の被害写真・身の守り方(気象庁パンフレット)						

<啓林館>

第2次「風の強さを変えて、車の動きを調べる。」

<東京書籍>

第1次「風で動かそう」第4時または、第5時

展開(指導計画通りに授業を実施)

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 (授業者で)	
展 開	2 (授業者で)	
ま と め	3 まとめとふりかえりをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 風には物を動かす働きがあり、その働きは風が大きくなるほど大きくなることをおさえる。 ○ 台風や竜巻の例を挙げ、被害の写真など見せることにより、風の働きのプラス面(風力発電 等)とマイナス面(農作物被害、建物被害 等)を知らせる。 ○ 台風や竜巻からの身の守り方にもふれるとなおよい。

関 連 す る 教 科 ・ 領 域 等	学級活動「気をつけて! 激しい雨や風」①②
協 力 団 体	